障害学会　第１６回大会　　　2019年9月7日（土）

〔於：立命館大学朱雀キャンパス（京都市）〕

第17回総会資料

開会　　（12：40　～　13：40）

・会長あいさつ　　 （立岩）

・議長選出　　　　 （　　　　　）

◆　審議事項

【第１号議案】　　2018年度事業報告および会計報告

　①18年度事業報告

　　　31回理事会　11/17（土）　　（於：クリエイト浜松）

　　　障害学会15回大会（聖隷クリストファー大学）（於：クリエイト浜松）

　②18年度会計報告

【収入】

　会費収入　　　　2,958,000円

　利息 0円

|  |
| --- |
| 当期収入合計　　2,958,000円 |

【支出】

　事務局経費　　　 　　　　　 756,782円

　理事会経費　　　 　　　　 44,762円

大会情報保障費　 　　　　 634,775円

　大会開催補助費（第14回大会分後納） 19,404円

編集委員会費　　 　　　　 0円

研究企画委員会費　 　　　　 115,094円

その他　　　　　　　　　　　　　　　　　 648円

　学会誌発行制作費

　　第15号会員分発行費　　　　　　　1,150,000円

　　第15号製作費　　　　　　　　　　　150,000円

　　第13号会員発行費　差額　　　　　　 864円

第14号会員発行費　差額　　　　 33,568円

第14号製作費　差額 　　　　　-79,136円

　　過年度年会費支払会員向け学会誌送付 298,177円

|  |
| --- |
| 当期支出合計 　　 　　　　 3,124,938円 |

前期繰越収支差額　　　　　　　　　　　1,749,900　円

当期収支差額　　　　　　　 　－166,938　円

次期繰越収支差額 1,582,962 円

以上の18年度会計報告については、2019年8月10日付で会計監査の大塚浮子会員より承認を受けました。

②　障害学会第15回大会（聖隷クリストファー大学）会計報告

|  |  |
| --- | --- |
| **障害学会第15回大会会計報告** | |
| 収入 | |
| **事前申し込み** |  |
| 参加費（一般） | 248,000 |
| 参加費（割引） | 64,000 |
| 懇親会費（一般） | 168,000 |
| 懇親会費（割引） | 60,000 |
| **当日申し込み** |  |
| 参加費（一般） | 100,000 |
| 参加費（非会員） | 246,000 |
| シンポジウムのみ | 47,000 |
| 懇親会費（一般） | 45,000 |
|  | 978,000 |
| 支出 | |
| 施設使用料（施設備品使用料含む） | 132,480 |
| 懇親会設営費（料理代金含む） | 214,272 |
| 学生スタッフ昼食代・菓子代 | 23,440 |
| 学生スタッフ交通費 | 24,820 |
| お茶代 | 488 |
| 事務用品代 | 8,399 |
| シンポジスト謝金・交通費 | 69,340 |
| 磁器ループ郵送費・運搬費 | 2,300 |
| 障害学会ポスター制作費 | 5,000 |
| 体調不良者対応のための宿泊費 | 8,800 |
| 銀行手数料 | 1,404 |
|  | 490,743 |
| 収入－支出＝ | 487,257 |

【第２号議案】　　2019年度事業計画および予算案

①　事業計画案

　理事会・・・第32回理事会　2019年9月6日（金）立命館大学朱雀キャンパスで開催

　　　　　　　第33回理事会　2020年1月から3月内に開催予定

　　　　　　事務局移転　　 2019年10月1日 国際文献社からガリレオ

　　　　　　理事選挙実施 2019年11月下旬　実施予定

編集委員会　『障害学研究』　の発行

第16回京都大会の開催　　2019年9月7日（土）

研究企画委員会企画シンポジウム・9/7（土）　京都大会の中で開催

②　2019年度学会予算　案

【収入】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学会費 | 3,024,000円 | 納付率80％（一般500名×7000、割引70名×4000） |
| 繰越金 | 1,582,962円 |  |
| 第15回大会余剰金 | 487,257円 | 2019年8月20日振込 |
| 収入計 | 5,097,219円 |  |

【支出】

　　 事務局　　　　 　 　　1,100,000円

　　 理事会　　　　　 　 　 50,000円

理事選挙費用　　 　 　 100,000円

　　 研究企画委員会　 　 　150,000円

　　 編集委員会　　 　　　 50,000円

　　 大会情報保障費　 　　 500,000円

　　大会開催予備費　 　　 200,000円

　　学会誌制作発行費　　　 1,300,000円

予備費（繰越予定金） 　1,647,219円

|  |
| --- |
| 支出計　　　　　　　 5,097,219円 |

【学会誌制作発行費　内訳】

　第16号製作費　　　 　　 150,000円

　第16号発行費　　　　　1,150,000円

【第３号議案】　　選挙制度の改正について

現行の「他薦間接性（他薦候補制）」の理事選挙を、オンラインによる他薦直接制へ移行する。

制度改正の背景は、障害学会は設立から16年が経過し会員相互の交流が図られ、互いの人物・研究がわかるようになっている。学会が成熟していると考えられる。その意味で、長年、研究を積極的に行っている会員や、学会に貢献している会員を、直接の投票によって選出する「他薦直接制」への移行は、理に適っており、技術的にも可能である。

現行の問題点

1. 理事候補者の推薦・募集、②投開票、という大きな業務が2段階にわたり必要になっている。これら一連の事務作業および事務経費が理事会・事務局の負担となっている

　　②　他薦直接制になることで、理事候補者の推薦・募集の業務は必要なくなり、理事・事務局の負担の軽減が図られる。

他薦直接制のメリット

　　①　候補制でなくなることによって、多様な会員層からの理事の選出が期待できる。

　　②　障害学会は多様な背景をもつ会員を包摂し、会員数は増加傾向にある。他薦直接制選挙はそうした多様性の確保に寄与すると考えられる。

　　③　「オンライン投票」の導入を予定している。アクセスビリティは向上するので、投票率の上昇も一定程度、期待できる。

（１）障害学会理事選出規程の改正

※「障害学会理事選出規程（改正案）新旧対照表」を、参考資料として末尾に載せている。

（２）第9期理事会・役員の事前承認

（第9期理事会は、11月下旬実施予定の理事選挙によって選出）

◆　報告事項

◇　編集委員会活動報告

・第14号『障害学研究』について（2018年11月10日刊行済）

・第15号『障害学研究』について（2019年11月　刊行予定）

・第16号『障害学研究』について（2020年9月　刊行目標）

◇事務局移転について

・2019年9月30日をもって国際文献社から、ガリレオへ事務局移転をする。

◇第17回大会について

・次回は関東圏での開催が望ましいと考える。淑徳大学の山下さんにお願いしたい。

・その場合、最寄り駅からはスクールバスを利用することがメインの交通手段になる。

・学会開催に係る開催校への負担軽減。

・情報保障費の圧縮。

以上を勘案して、「学会の1日開催」（理事会は前日）を検討している。

土曜日の0900〜1730程度の開催。総会は昼休みに開催。

その他

